



平成30年12月18日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 屋内開閉所における作業員の死亡事故について

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット）は、第25回定期検査中（全燃料取出中）のところで、本日15時26分頃、屋内開閉所^{※1}で作業中の作業員が感電により倒れたと思われるため、15時29分、公設消防へ連絡し、15時43分に救急車と消防車が発電所到着、15時59分に近隣の病院に搬送しました。救命措置を行いましたが、17時09分、死亡が確認されました。

お亡くなりになった方のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、ご遺族の方々に対し心からお悔やみを申し上げます。

現在、詳細原因については調査しています。

本事象による環境への放射能の影響はありません。

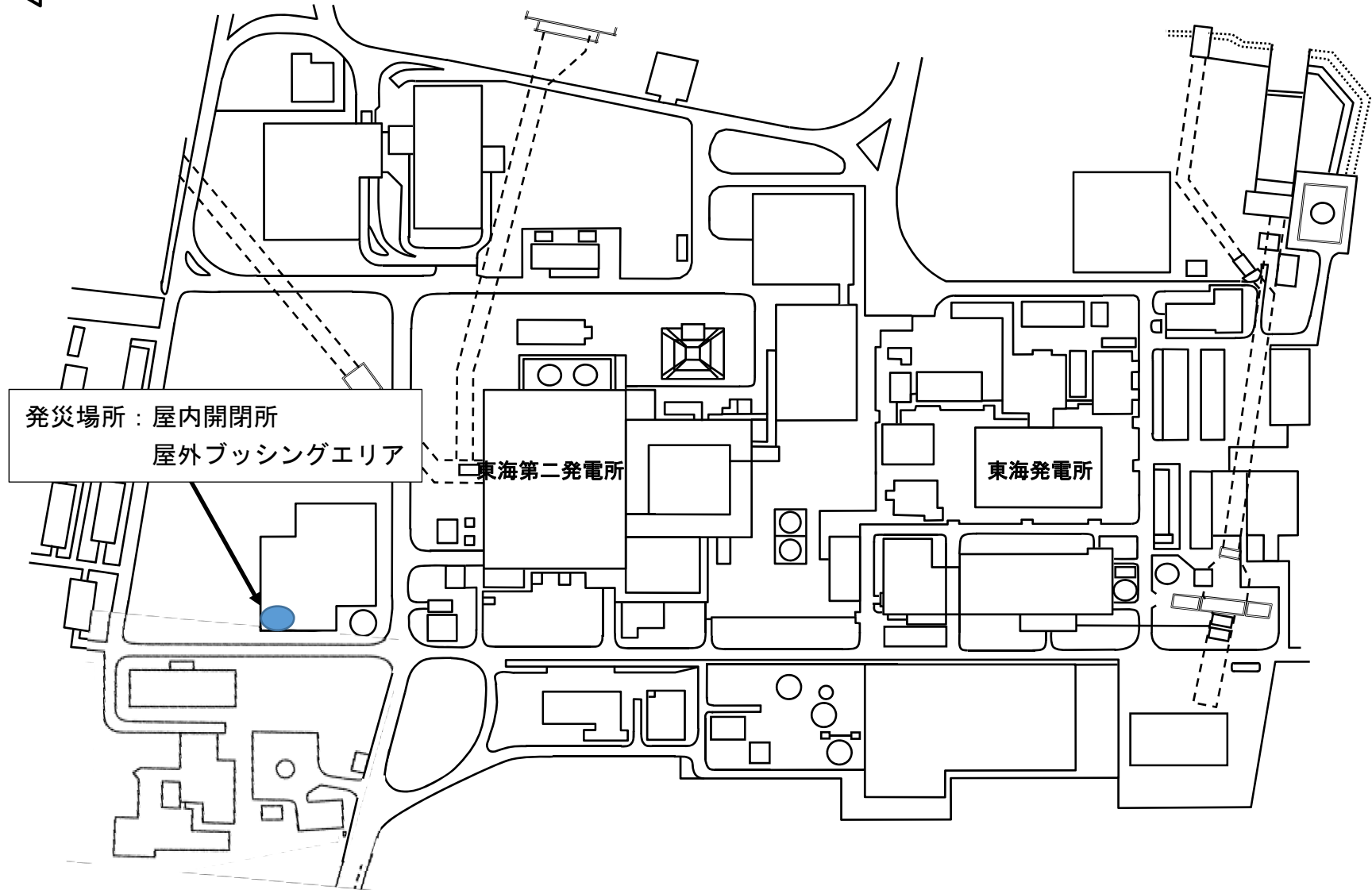
※1：発電所と送電線を接続するため、構内に施設した開閉器その他の装置により電路を開閉する場所

添付資料 東海・東海第二発電所 位置図
被災状況図

以上

東海発電所・東海第二発電所 位置図

4



被災状況図

275kV 送電線 (2L)

